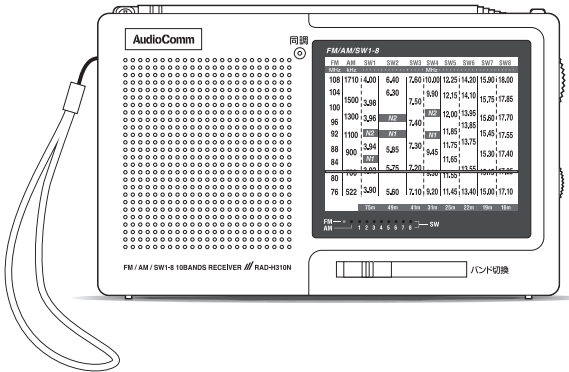


取扱説明書

株・競馬 たんぱラジオ (FM/AM/SW1-8 10バンドレシーバー)

型番：RAD-H310N
品番：03-5630



このたびは、AudioComm® 株・競馬 たんぱラジオをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使いかたは火災や感電による人身事故につながることがあります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

⚠ 警告 以下を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに電源を切り、本機から乾電池を取り外す。ACアダプター使用時は、家庭用コンセントからACアダプターを抜く
 - ・そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
 - ・煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止する
 - ・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
 - ・販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 本機を分解、修理、改造しない
 - ・火災や感電の原因となります。
- 屋外で使用中に雷が鳴り始めたら、すぐに使用を中止する
 - ・落雷や感電の原因となります。
- 浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない
 - ・感電や故障の原因となります。
- 車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない
 - ・交通事故の原因になります。
 - ・歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
- ACアダプターは必ず本機の仕様に適した製品を使う
 - ・破損や火傷、発煙、火災の原因となります。
- 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する
 - ・乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
- 本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない
- 本機やACアダプターを布団などで覆わない
 - ・熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。
- ACアダプターはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続する
 - ・手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。
 - ・本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。異常が生じたときには、すぐにACアダプターを家庭用コンセントから抜いてください。
- ACアダプターは交流100ボルト以外の電圧で使用しない。また、自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない
 - ・製品の破損、もしくは火傷や発煙、火災の原因となります。
- 本機やACアダプターの上に重いものをのせたり、ACアダプターのコードの上に本機をのせない
 - ・本機が破損したりコードに傷がついて、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意 以下を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定されますので十分ご注意ください。

- 乾電池を挿入するときは極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示どおり正しく入れる
 - ・間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の乾電池は使用しない。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池（例：アルカリとマンガン）を一緒に使わない
 - ・乾電池の破裂、液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない
 - ・落下による故障やけがの原因となることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
 - ・故障の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かない
 - ・火災や感電の原因となることがあります
- はじめから音量を上げすぎない。長時間、大音量で聴き続けない
 - ・周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- 本機を落としたり、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
 - ・故障や破損の原因になることがあります。
- 電磁波を発生させる機器（携帯電話、テレビ、モニターなど）に近づけない
 - ・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。
- 長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す。ACアダプターも取り外す
 - ・火災や液もれの原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために
液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

⚠ 注意

- ・⊕⊖の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使用する
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期にイヤホンを使用すると、耳にびりびりと痛みを感じることがありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

お手入れのしかた

※必ず電源を切ってから行なってください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

短波放送（SW）について

短波は地上70～500kmにある電離層に反射する特性があり、地表と電離層の間を遠くまで進むため、地球の裏側で発せられた短波放送を受信することができます。

＜周波数の変更について＞

小さい出力で遠くまで受信できる短波放送ですが、一方では電波の伝わりかたが季節によって変化する特徴もあります。夏は高い周波数、冬は低い周波数のほうがよく伝わります。そのため各放送局は複数の周波数を使うとともに、年に何回か周波数の変更を行なっています。また、混信が発生した場合も周波数修正を行なっています。

メーターバンドとは

短波放送は国際協定により、放送局ごとに使える周波数帯が割り当てられています。この周波数帯のことを「メーターバンド」といい、これにより世界の電波の混信を防いでいます。本機が受信できるメーターバンドは以下のとおりです。短波放送を聴くときは、SW1（75m）～SW8（16m）をバンド切換スイッチで選んでから、選局ダイヤルで各放送局の周波数に合わせてください。

メーターバンド	周波数帯 (MHz)	主な放送局
SW1 (75m)	3.9～4.0	ラジオNIKKEI(日)
SW2 (49m)	5.6～6.4	ラジオNIKKEI(日)・ラジオ韓国(日)・VOA(英)
SW3 (41m)	7.1～7.6	ラジオ日本(日／英)・BBC(英)・VOR(日／英)・中国国際放送(日／英)
SW4 (31m)	9.2～10	ラジオ日本(日／英)・ラジオNIKKEI(日)・BBC(英)・VOA(英)・ラジオ韓国(日／英)
SW5 (25m)	11.45～12.25	ラジオ日本(日／英)・BBC(英)・VOA(英)・DW(英)
SW6 (22m)	13.4～14.2	ラジオ韓国(英)・オランダ放送(英)・ラジオフランス(仏)
SW7 (19m)	15～15.9	ラジオ日本(日／英)・VOA(英)・BBC(英)・ラジオフランス(仏)
SW8 (16m)	17.1～18	ラジオ日本(日／英)・BBC(英)・VOA(英)・ラジオオーストラリア(英)・DW(英／独)

(日)…日本語放送 (英)…英語放送 (仏)…フランス語放送 (独)…ドイツ語放送

ラジオNIKKEIについて

ラジオNIKKEIには投資や株式のビジネス情報から、英会話などの教育番組や競馬情報などのエンターテインメントまで、あらゆる情報が満載です。短波放送なので、海外でも受信できます。詳細は<http://www.radionikkei.jp/>をご参照ください。

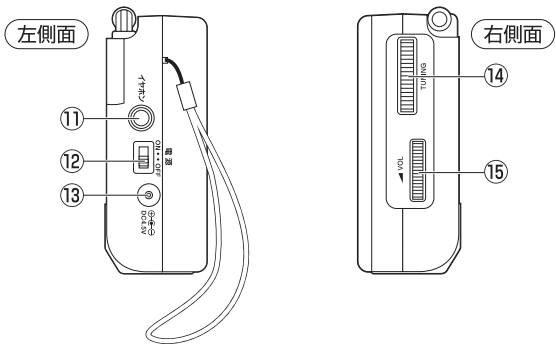
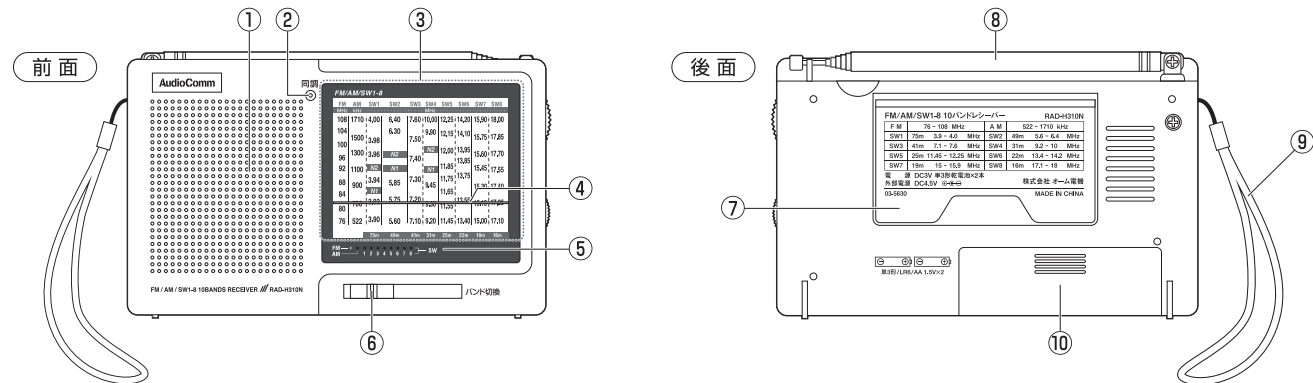
第1放送	6.055MHz (3.925MHz：朝夕、9.595MHz：緊急時)
第2放送	6.115MHz (3.945MHz：19時以降、9.760MHz：緊急時)

主な仕様

電源	DC3V 単3形乾電池×2本 (別売) 外部電源 DC4.5V ⊕●⊖ (ACアダプター別売) ※適合プラグ径：内径1.3mm 外径3.5mm	
受信周波数	FM：76～108MHz AM：522～1710kHz SW：3.9～18MHz	
メーターバンド	75m、49m、41m、31m、25m、22m、19m、16m	
アンテナ	FM・SW：ロッドアンテナ	AM：内蔵フェライトバーアンテナ
乾電池持続時間	スピーカー使用時	FM：約76時間 AM：約98時間 SW：約100時間
	イヤホン使用時	FM：約116時間 AM：約127時間 SW：約125時間
外形寸法	幅125×高さ76×奥行30.5mm (突起物含まず)	
質量	約162g (乾電池含まず)	
付属品	モノラルイヤホン、ハンドストラップ (本体に固定)、保証書、取扱説明書	

※外観、仕様は改善のため予告なく変更することがあります。
※乾電池持続時間は、アルカリ乾電池新品使用時(音量中程度)の目安です。使用環境により異なります。
※本書のイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

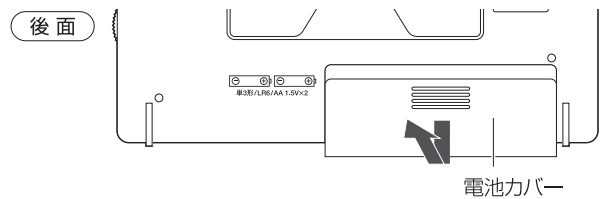
各部の名称



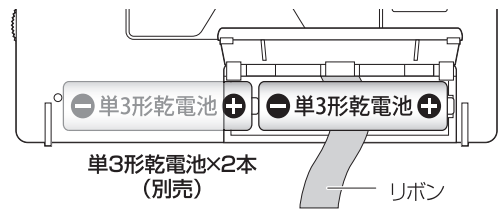
- ①スピーカー
- ②同調ランプ
- ③選局目盛
- ④選局指針
- ⑤バンド表示
- ⑥バンド切換スイッチ
- ⑦収納式スタンド
- ⑧ロッドアンテナ
- ⑨ハンドストラップ
- ⑩電池カバー
- ⑪イヤホン端子
- ⑫電源スイッチ
- ⑬外部電源端子
- ⑭選局ダイヤル
- ⑮音量ダイヤル

乾電池の入れかた

- 電池カバーの ≡ 部を押しながら下にスライドさせた後、上に持ち上げて電池カバーを開けます。



- 単3形乾電池2本(別売)を、⊕と⊖の向きに注意しながら図のように正しく入れます。乾電池はマイナス(⊖)側から先に入れてください。リボンの上から入れると、取り出しやすくなります。

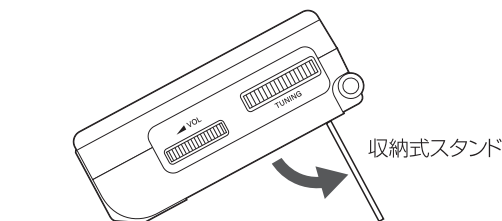


- 電池カバーを元どおりにしっかりと閉めます。

長期間使わないときは、液もれを防ぐため乾電池を取り外してください。

スタンドの使いかた

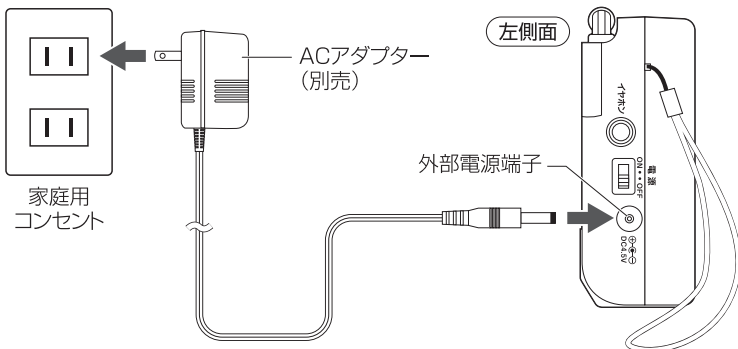
机の上などに斜めに置きたいときは、背面の収納式スタンドを起こしてご使用ください。安定した状態で操作できます。



ACアダプター(別売)で使うときは

ACアダプター(別売)を使って、本機の外部電源端子と家庭用コンセントを接続します。

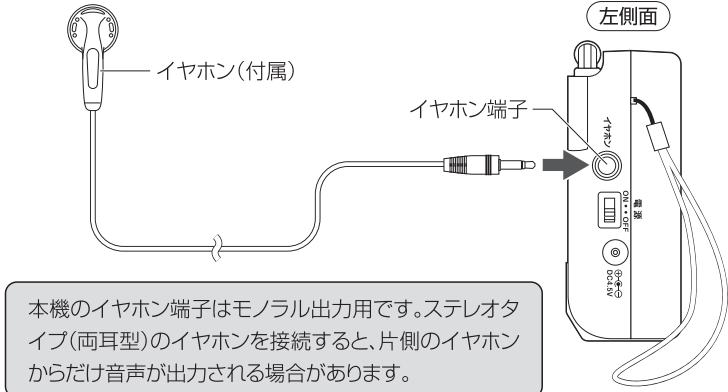
- ACアダプターを使うと、長時間のリスニング時に便利です。
- ACアダプター使用時は、自動的に電源がACアダプターに変更されます。



下記規格の市販ACアダプターをご使用ください。
DC4.5V ※極性：センターマイナス
⊕ ⊖ ※適合プラグ径：内径1.3mm 外径3.5mm
※スイッチング式ACアダプターを使用すると、雑音が発生することがあります。

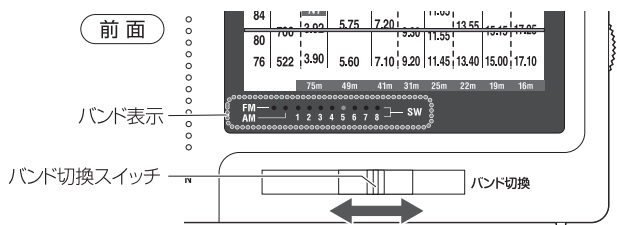
イヤホン(付属)で聴くときは

イヤホンのφ3.5mmミニプラグを本機のイヤホン端子に差し込んでください。イヤホンを接続すると、スピーカーからの音は聴こえなくなります。

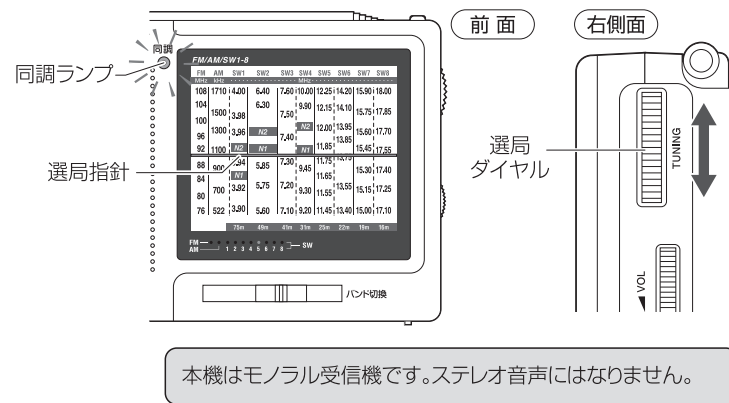


ラジオを聴く

- 電源スイッチを「ON」に合わせて電源を入れます。
音量は抑えめにしてください。
- バンド切換スイッチをお聴きになりたいバンドに合わせます。
・バンド切換スイッチを動かすと、選ばれているバンドが赤く表示されます。
(例)SW放送を聴くときは、放送局のバンドメーターに応じて、SW1～SW8のいずれかに合わせてください。



- 選局ダイヤルを回して、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。
・選局ダイヤルを回すと、選局指針が上または下に動きますので、選局目盛を見ながら操作してください。
・受信可能な放送局に周波数が合うと同調ランプが点灯します。



- 音量ダイヤルを回して、音量を調節します。
音量の上げすぎにご注意ください。



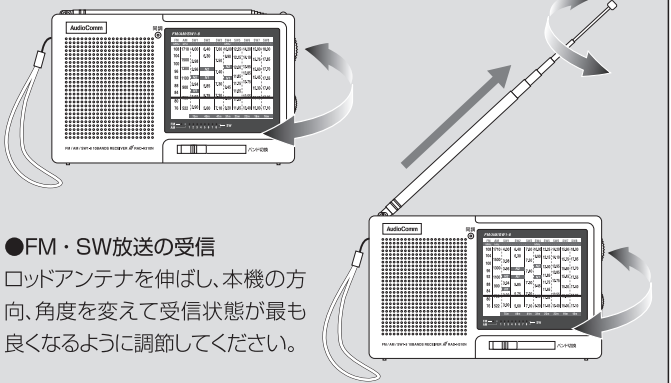
- 終了するときは、電源スイッチを「OFF」に合わせます。



受信状態を良くするには

●AM放送(MW)の場合

本機内にアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて最も良く聞こえるように調節してください。



※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離れてご使用ください。
※持ち運びときは、目をついたり危険ですので、ロッドアンテナを縮めた状態で持ち運んでください。

FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76～108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。
FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。
FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

故障かなと思ったら

電源が入らない

- 乾電池は正しく装着されていますか。⊕⊖の向きは正しいですか。
- 乾電池が消耗していませんか。
- (ACアダプター使用時)ACアダプターは、本機と家庭用コンセントに正しく差し込まれていますか。
- (ACアダプター使用時)ACアダプターは、本機の規格に合ったものを使用していますか。

音が出ない／音が小さい

- 電源は入っていますか。
- 音量が最小になっていませんか。
- イヤホン端子にイヤホンが接続されていませんか。
- バンドを正しく選びましたか。正しく選局されていますか。
- 乾電池が消耗していませんか。

雑音が多い／音が悪い

- 乾電池が消耗していませんか。
- 近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話から離して使用してください)。
- テレビやパソコン、蛍光灯などの近くで、AM放送やSW放送を受信しようとすると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用するとテレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をそれぞれの機器から離してください。
- SW放送の場合、季節や混信発生状況によって周波数が変更になっている可能性があります。各放送局の周波数をご確認ください。